

Q 鶴ヶ島市の保育料について

はせがわ きよし
長谷川 清 議員



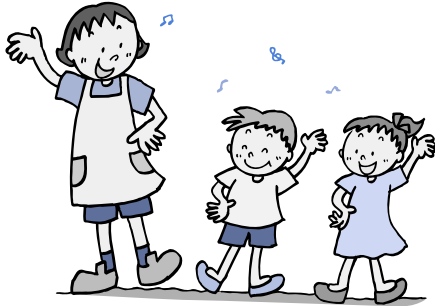
A 適正な水準を今後検討する

問 「子育てするなら鶴ヶ島！」と市長は言っているのに、鶴ヶ島市の保育料は他市と比べてむちゃくちゃ高くないか。

答 保育料は、国が定める徴収基準額に対して、各市町村の調定額がどれだけ減額されているかという減額率で比較している。この比較において、本市の減額率は埼玉県西部11市中5番目、県内40市中20番目であり中間の

問 水準である。私は保育料の比較を聞いてるのであって減額率の比較を聞いているのではない。

答 本市においては、対象人数が最も多い平均的な所得階層の方の保育料が県下有数に高いと私は分析しているが、保育料を比較する際、各自治体の保育料徴収基準表はばらばらであり、一律に比較するこ



とは非常に難しい。そのため、県も、保育料を比較する際の目安としている減額率での比較を申し上げた。中間所得層の保育料は、県内でも高い水準である。**問** 今後、どうすべきなのか。**答** 時代の変化などに合わせて適正な水準を設定する必要がある。次期子ども・子育て支援事業計画の策定と併せて、児童福祉審議会などにもしっかりと諮りながら、検討していきたい。

Q 今後の鶴ヶ島市の成長戦略について

むらかみ しんきち
村上 信吉 議員



A 企業誘致と市民の定住促進のために魅力あるまちづくりを行う



企業誘致が進む農大跡地周辺

問 今後の鶴ヶ島市政維持、成長戦略のビジョンについて。

答 総合計画の「子どもにやさしいまちづくり」、「いつまでも健康でいられるまちづくり」、「多様な働き方が実現できるまちづくり」を掲げ、一体的に進め、市の将来像実現を目指す。

問 歳入確保のため、財政健全化の施策について。法人市民税の増収に向けた、企業誘致などの取組について。

答 法人市民税増収に資する企業立地の推進に取り組んでいく。圏央道鶴ヶ島インターチェンジ周辺では、既に操業を開始しているIHIを含め、全5社が立

地する予定である。ほかにも令

和2年度に産業系12号に関する制度を整備して以降、3企業が立地することになった。

問 定住促進のために、魅力ある鶴ヶ島のまちづくりの戦略について。

答 子育て世代や若い世代の移住定住を進めるため、魅力のあるまちづくりを進めることが重要である。具体的には、鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくりやガーデンパークの整備など、まちの魅力を高める取組を行っている。**◎その他の質問** 市民が行政、市政に関心・共感を強めるための戦略について